

本大会における新型コロナウイルスに対する考え方について

日本感情心理学会第 31 回大会

実行委員長 伊藤義徳

長期間にわたり我々を苦しめ、悩ませた新型コロナウイルスの扱いは、2023 年 5 月 8 日以降 5 類感染症に移行し、感染対策については、国民の主体的な選択と判断が尊重されるようになりました。また、本大会のような集会活動につきましては、大会の主催者に委ねられることとなりました。

日本感情心理学会第 31 回大会としましては、せっかくの対面開催の大会ですので、皆様にとって実り多い大会となりますよう、積極的にコミュニケーションを楽しんで頂きたいと思えます。

一方で、感染すると現在においても 5 日以上外出が出来なくなる、弱毒化したとはいえ発熱や喉痛等の症状が出る等、一定程度の不利益を被る事になります。また、リスクを抱えた方が感染すると、大きな問題に発展する場合があります。

昨今、全数調査は行われていないため、国内における正確な感染者数は分かりませんが、地域によっては感染者数が増加している様相も伺えます。また、新たなオミクロン変異株が国内で見つかったとの報告もあります (5/22)。

本大会としましては、感染対策についてはそれぞれのご判断を尊重致します。それを前提に、本大会に参加したことで苦しい思いをされる方が出ないことを願い、皆様に可能な範囲で感染に対するご配慮をお願い致します。

※本大会の会場は、5/7 以前の基準に従う換気システムを備えた会場です。

※各会場の入り口に、手指消毒用のアルコールを用意しております。

※マスクをご入り用の方は、受付に準備しておりますので、お気軽にお声がけください。

以上